

# SEMInAR 生命科学セミナー

---

## 高等植物における細胞内自己分解システム・ オートファジーの分子機構と生理機能

---

吉本 光希 博士

理化学研究所・植物科学研究センター・植物免疫研究グループ

---

オートファジーは、細胞質成分を細胞内分解コンパートメントである液胞に輸送して分解する真核細胞に広く普遍的な細胞内分解システムである。高等植物においても、電子顕微鏡などに依拠した形態学的観察によりオートファジーの存在は古くから知られていたものの、それらは現象論にとどまり、植物におけるオートファジーの分子機構や生理機能についてはほとんど明らかにされていなかった。しかしながら、近年のゲノムワイドな解析により、酵母で発見されたオートファジーに必須な ATG 遺伝子群のホモログが植物にも存在することがわかり、その突破口が開かれつつある。最近、それらホモログ遺伝子が破壊されたシロイヌナズナ T-DNA 挿入変異株を用いた解析により、植物個体におけるオートファジーの役割が徐々に明らかとなってきた。本セミナーでは、オートファジーの分子機構から高等植物における生理機能まで、最新の研究成果とともに紹介したい。

3月3日（木） 16:00～17:30

北部キャンパス農学部総合館 W306 講義室

連絡先 生命科学研究所 全能性統御機構学分野  
佐藤文彦 (Fumihiko Sato) 内線 (6381)